

## 上田市地域公共交通網形成計画の事業評価について

**1 計画の概要**

- ・平成 28 年 12 月 16 日開催の上田市公共交通活性化協議会において、計画の内容が承認
- ・計画概要は、別添の資料 6-② (1~5 ページ) を参照

**2 計画の期間**

- ・平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間

**3 計画の目標**

- ①路線バス及び地域を運行するバス利用者数の増加
- ②別所線輸送人員数の増加
- ③上田市と他都市を結ぶバス系統数の維持・充実
- ④バス利用者満足度の向上

- ・目標に対する実績値は、別添、資料 6-③を参照
- ・近年の急激な人口減少、公共交通の利用低迷という背景に加えて、令和元年東日本台風 (19 号) 災害、及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に伴い、バスや別所線の利用者数の増加目標は未達成

**4 計画目標達成のための事業・施策**

- ・目標を達成するために、9 つの事業と 26 項目の施策を登載
- ・施策の実績は、別添の資料 6-④を参照
- ・バスや別所線の利用者数など数値で把握できる施策の一方、普及啓発活動・イベントの実施など、数値で把握しにくく評価につながりにくい部分もあり、5 か年で実施してきている内容を記載
- ・昨今の交通業界における深刻な運転手不足・高齢化、台風災害や新型コロナウイルスの影響が甚大で、路線の廃止・減便等が相次ぐなど、利用者の利便性の低下を招いている状況。一方、交通事業者の経営効率化を図るための路線再編という視点も重要
- ・また、新型コロナ禍における「新たな生活様式」への転換という視点を踏まえ、上田市では、「上田市スマートシティ化推進計画 (R 3 ~ R 7)」に基づく ICT 活用の施策にも着手
- ・今後は、網形成計画を踏まえた「地域公共交通計画」を策定し、市民、交通事業者、行政の三者が一体となった取組により、公共交通の維持・確保に努める。

目標達成のための事業・施策に対する実績

個別事業・施策（概要）		平成28年度 （2016）	平成29年度 （2017）	平成30年度 （2018）	令和元（平成31）年度 （2019）	令和2（平成32）年度 （2020）	
（1）路線バスの維持・改善	①路線バスの運行見直し  (H28.4.1時点) 上田バス:10路線 千曲バス:7路線 東信観光バス:2路線 JRバス関東:1路線 合計:20路線  (R2.2.1時点) 上田バス:11路線 千曲バス:6路線 東信観光バス:2路線 JRバス関東:1路線 合計:20路線  (通し番号 1)	ダイヤ改正等 路線の新設  路線数  路線の廃止等	利用者数:1,250,596人 (前年比+16,346人)	利用者数:1,227,820人 (前年比△22,776人)	利用者数:1,210,801人 (前年比△17,019人)	利用者数:1,161,168人 (前年比△49,633人)	利用者数:778,727人 (前年比△382,441人)
			【上田バス】 10月1日:久保林線新設◎ 【千曲バス】 12月:信濃国分寺駅前バス停新設	【上田バス】 10月:西丸子線ダイヤ改正 【千曲バス】 4月:佐久上田線ダイヤ改正 鹿教湯線ダイヤ改正 12月:佐久上田線ダイヤ改正	【千曲バス】 10月:鹿教湯線ダイヤ改正 青木線にて貨客混載事業開始	【上田バス】 10月:西丸子線ダイヤ改正	【上田バス】 4月1日:上田城下線新設◎ (別所線代行バス) 西丸子線ダイヤ改正 3月28日:西丸子線ダイヤ改正 12月1日:上田草津線新設◎ 【東信観光バス】 7月:中仙道線ルート変更 ダイヤ改正
			21路線 (前年比+1路線)	21路線 (前年比±0)	21路線 (前年比±0)	18路線 (前年比△3路線)	20路線 (前年比+2路線) (別所線代行バス)
（2）地域バスの維持・改善	①市街地循環バスの運行見直し (通し番号 2)	H13.10~運行開始 運行日:平日,土曜 運賃:200円 運行便数:18便 (赤バス9便、青バス9便)	利用者数:27,358人 (前年比△3,381人)	利用者数:25,708人 (前年比△1,650人)	利用者数:27,301人 (前年比△1,995人)	利用者数:24,114人 (前年比△3,187人)	利用者数:19,164人 (前年比△4,950人)
	②まちなか循環バスの運行見直し (通し番号 3)	H27.10~運行開始 運行日:土曜,休日(季節により毎日) 運行便数:17便 H28.2~「ぐるっと上田丸」 ラッピング車両運行開始	利用者数:33,395人 (前年比+27,115人)	利用者数:16,070人 (前年比△17,325人)	利用者数:14,340人 (前年比△1,730人)	利用者数:11,775人(12/28まで) (前年比△2,565人)	利用者数:0人
	③丸子地域循環バスの運行見直し (通し番号 4)	H12.1~運行開始 運行日:平日,土曜 運賃:200円 運行便数:6便	利用者数:4,328人 (前年比△688人)	利用者数:3,740人 (前年比△588人)	利用者数:3,474人 (前年比△266人)	利用者数:3,297人 (前年比△177人)	利用者数:2,895人 (前年比△402人)
	④武石地域「マド」交通の運行見直し (通し番号 5)	H18.2~運行開始 運行日:平日 運賃:300円(600円)	利用者数:8,549人 (前年比△88人)	利用者数:8,189人 (前年比△360人)	利用者数:7,327人 (前年比△862人)	利用者数:7,588人 (前年比+261人)	利用者数:7,186人 (前年比△402人)
（3）高齢者、障がい者への配慮	①オレンジバスの運行見直し (通し番号 6)	H13.10~運行開始 運行日:6コース,それぞれ週2回 運賃:60歳以上無料,60歳未満100円	利用者数:23,360人 (前年比△2,196人)	利用者数:22,758人 (前年比△602人)	利用者数:25,302人 (前年比+2,544人)	利用者数:19,438人 (前年比△5,864人)	利用者数:14,956人 (前年比△4,482人)
	②(真田地域)ふれあいバスの運行見直し (通し番号 7)	H5.4~運行開始 運行日:月,水,木,金 運賃:無料	利用者数:5,700人 (前年比△833人)	利用者数:5,272人 (前年比△428人)	利用者数:5,231人 (前年比△41人)	利用者数:4,824人 (前年比△407人)	利用者数:2,035人 (前年比△2,789人)
	③バリアフリー車両の導入 (通し番号 8)			ノンステップバス導入 (マイクロ1台)	ノンステップバス導入 (上田バス1台、丸子地域循環バス1台、ふれあいバス1台)	UDタクシー車両導入 (上田観光自動車1台、菅平観光タクシー1台) ノンステップバス導入 (千曲バス1台)	ノンステップバス導入 (上田バス1台、千曲バス1台)

個別事業・施策（概要）		平成28年度 （2016）	平成29年度 （2017）	平成30年度 （2018）	令和元（平成31）年度 （2019）	令和2（平成32）年度 （2020）
（4） 動 手 段 の 確 保 移	①地域自主運行バス等地域主導型公共交通の導入支援 （通し番号 9）	利用者数:1,534人 （前年比△128人） 豊殿地域自主運行バスの運行 運行日：月、金 運賃：200円 地元負担：各戸あたり年額1,000円	利用者数:1,236人 （前年比△298人）	利用者数:862人 （前年比△374人）	利用者数:701人 （前年比△161人）	利用者数:631人 （前年比△70人）
					市HPでのPR（豊殿地区循環バス）	
（5） 鉄 道 の 連 携 強 化	①新幹線の始発・終着列車とバスの接続 （通し番号 10）	（バス事業者において随時見直し）			〔10月：令和元年東日本台風災害により車両120両が被災〕	〔3月：金沢駅開業から5年〕
	②しなの鉄道の長野方面への朝夕の列車とバスの接続 （通し番号 11）	（バス事業者において随時見直し）			10月：令和元年東日本台風災害により新幹線と貸切バスによる学生の代替輸送を実施	7月：新型車両SR1系デビュー
	③別所線と新幹線、しなの鉄道の接続 （通し番号 12）	【上田電鉄】 3月：ダイヤ改正	【上田電鉄】 3月：ダイヤ改正		10月：令和元年東日本台風災害により千曲川橋梁が被災 【上田電鉄】 10月、11月、3月：ダイヤ改正	【上田電鉄】 3月28日：ダイヤ改正
	④別所線下之郷駅におけるバスの接続 （通し番号 13）		【上田バス】 10月：西丸子線ダイヤ改正		【上田バス】 10月：西丸子線ダイヤ改正	【上田バス】 4月：西丸子線ダイヤ改正 3月28日：西丸子線ダイヤ改正
	⑤別所線沿線のP&R駐車場の維持・整備 （通し番号 14）	【上田電鉄】 P&R駐車場の維持・管理 大学前駅62台 中野駅5台 舞田駅10台				
	⑥別所線のサービスレベル向上のための検討 （通し番号 15）	利用者数:1,313千人 （前年比+14千人） 【上田電鉄】 各種お得なきっぷの販売 4月、10月：マイレールチケット販売 （販売実績：25,431千円）	利用者数:1,280千人 （前年比△33千人） 【上田電鉄】 各種お得なきっぷの販売 4月、10月：マイレールチケット販売 （販売実績：24,377千円）	利用者数:1,299千人 （前年比+19千人） 【上田電鉄】 各種お得なきっぷの販売 4月、10月：マイレールチケット販売 （販売実績：22,358千円）	利用者数:1,116千人 （前年比△183千人） 【上田電鉄】 各種お得なきっぷの販売 4月、10月：マイレールチケット販売 （販売実績：18,719千円）	利用者数:637千人 （前年比△479千人） 【上田電鉄】 各種お得なきっぷの販売 4月、10月：マイレールチケット販売 （販売実績：）
	⑦別所線の維持・活性化に伴う事業 （通し番号 16）	【上田電鉄】 安全対策事業の実施 （市補助額：95,805千円） 【別所線電車存続期成同盟会】 9月：第14回別所線沿線写真撮影会 11月：別所線わくわくツアー （マレットゴルフ・リンゴ狩り）	【上田電鉄】 安全対策事業の実施 （市補助額：96,898千円） 【別所線電車存続期成同盟会】 9月：第15回別所線沿線写真撮影会 11月：別所線わくわくツアー （マレットゴルフ・ぶどう狩り）	【上田電鉄】 安全対策事業の実施 （市補助額：87,299千円） 【別所線電車存続期成同盟会】 10月：第16回別所線沿線写真撮影会 11月：別所線わくわくツアー （マレットゴルフ・みどり大根収穫体験）	【上田電鉄】 安全対策事業の実施 （市補助額：68,919千円） 【別所線電車存続期成同盟会】 9月：第17回別所線沿線写真撮影会	【上田電鉄】 安全対策事業の実施 （市補助額：） 6月19日：日本遺産認定 （別所線鉄道施設含む）
（6） 都 市 間 連 携 の 強 化	①上田-松本都市間バスの運行 （通し番号 17）	利用者数:2,230人 H27.2～運行開始 運行日：土曜、休日、8月の平日 運行便数：4便	利用者数:2,460人 （前年比+230人）	利用者数:2,967人 （前年比+507人）	利用者数:3,673人 （前年比+706人）	利用者数:2,118人 （前年比△1,555人） 4月：生島足島神社バス停新設
	②他都市と連絡している路線の運行見直し （通し番号 18）	佐久上田線、青木線（千曲バス） 中仙道線、丸子線（東信観光バス） 長久保線（JRバス関東）	【千曲バス】 4月：佐久上田線、沿線4市において廃止代替路線に移行 4月：佐久上田線ダイヤ改正 12月：佐久上田線ダイヤ改正			【東信観光バス】 7月：中仙道線ルート変更 ダイヤ改正 （椀子ワイナリー開業に伴う） 12月：上田草津線新設◎ （群馬県嬲恋村・草津町）
（7） 支 援 者 へ の	①「上田市運賃低減バス」の継続 （通し番号 19）	利用者数:1,229,010人 （前年比+16,365人） H26.10.1～青木線において運賃低減バス導入（青木村との広域連携） 10月：第2期実証運行開始 （H28.10～H31.9）	利用者数:1,203,211人 （前年比△25,799人）	利用者数:1,188,850人 （前年比△14,361人）	利用者数:1,144,566人 （前年比△44,284人）	利用者数:776,474人 （前年比△368,092人） 10月：第3期継続運行開始 （R1.10～R4.9）
	②乗り継ぎ料金制度の導入・継続 （通し番号 20）	（真田自治センター入口、丸子駅での乗り継ぎ割引制度の継続）				

個別事業・施策（概要）		平成28年度 （2016）	平成29年度 （2017）	平成30年度 （2018）	令和元（平成31）年度 （2019）	令和2（平成32）年度 （2020）	
（8） 配慮 観光客の	①観光客に対応できる乗務員の育成 （通し番号 21）	（タクシー会社） 観光ガイドタクシー実施	→				
	②観光客が利用しやすい停留所の改良 （通し番号 22）	乗継案内板の設置、随時更新	→				
（9） 利用促進 ソフト施策の強化	①分かりやすい時刻表と路線図の提供 （通し番号 23）	10月：路線バス時刻表・路線図全戸配布	4月：上田市公共交通と暮らしのガイド発行・全戸配布 10月：路線バス時刻表・路線図全戸配布	10月：路線バス時刻表・路線図全戸配布 10月：市街地循環バス時刻表・路線図各戸配布	4月：上田市公共交通と暮らしのガイド発行・全戸配布 10月：路線バス時刻表・路線図発行	9月：路線バス時刻表・路線図全戸配布	
	②モビリティマネジメントの実施 （通し番号 24）	7月：夏休みキッズバス事業の実施（利用実績：2,443人） 12月：市内高校の在校生向け啓発チラシの配布 3月：市内高校の新生入生向け啓発チラシの配布 12月：首都圏向け路線バス菅平高原線PRチラシの配布（3,000枚）  （上田電鉄） ・栗橋みなみ夏まつり ・鉄道の日記念イベント ・東急長津田駅イベント 各種イベントで啓発チラシを配布  （上田バス、千曲バス） 季節限定のデコレーションバスの実施  （上田バス） バスの乗り方教室イベントの実施  駅前タペストリー随時更新	7月：夏休みキッズバス事業の実施（利用実績：2,553人） 2月：市内中学三年生向け啓発チラシの配布 4月、11月：首都圏向け路線バス菅平高原線PRチラシの配布（計5,000枚）  （上田電鉄） ・栗橋みなみ夏まつり ・鉄道の日記念イベント ・東急長津田駅イベント 各種イベントで啓発チラシを配布	7月：夏休みキッズバス事業の実施（利用実績：2,355人） 3月：市内中学三年生向け啓発チラシの配布 9月：公共交通利用促進缶バッジの作製 4月、1月：首都圏向け路線バス菅平高原線PRチラシの配布（計5,000枚）  （上田電鉄） ・栗橋みなみ夏まつり ・鉄道の日記念イベント 各種イベントで啓発チラシを配布	7月：夏休みキッズバス事業の実施（利用実績：2,737人） 3月：市内中学三年生向け啓発チラシの配布 7月、10月：首都圏向け路線バス菅平高原線PRチラシの配布（計6,500枚） 10月：東急バス車内への掲示用ポスター作製（100枚）  7月：北小学校課外学習にて まちなか循環バスの利用 10月：高齢者向け出前講座開催（上田バス） 9月：第5回信州バスまつり（来場者約5,000人） 12月イルミネーション（来場者約700人）	（夏休みキッズバスは新型コロナの影響で中止） 8月：市街地循環バス停留所表示板の更新 12月：公共交通利用促進マスクの作製  12月：首都圏向け路線バス菅平高原線PRチラシの配布（200枚）  ICT活用の調査・研究 ・QRコード決済実証事業（菅平高原線） 〈グリーンスローモビリティの検討〉	
	③バス待ち環境の改善・向上 （通し番号 25）	（まちなか循環バス） バスロケーションシステム導入	→				運行休止
	④運転免許自主返納支援 （通し番号 26）		運転免許証自主返納促進事業開始 （交付実績：304人） （利用実績：903枚）	→			
				（交付実績：326人） （利用実績：2,147枚）	（交付実績：452人） （利用実績：2,686枚）	（交付実績：376人） （利用実績：2,237枚）	

# 上田市地域公共交通網形成計画【概要版】

平成28年12月 上田市

## ■ 計画策定の背景

### 「上田市地域公共交通総合連携計画」の大幅な見直し

平成20年3月に「上田市地域公共交通総合連携計画」を策定し、市民（利用者）・交通事業者・行政が連携し、計画で定められた様々な改善策をPDCAサイクルにより行ってきましたが、平成20年3月策定以来「連携計画」自体を見直すことはありませんでした。

少子高齢化・人口減少の進行等の社会状況を踏まえ、今後の公共交通整備の指針とすべき計画が必要となっています。

### 「拠点集約型都市構造」の構築を支援する公共交通網の形成

これまでは公共交通空白地域等の解消を重点に置き、市内交通網が比較的拡散したものとなっていました。また、「第二次上田市総合計画（平成28年3月策定）」等で掲げる「拠点集約型都市」の形成を支援するため、今後策定を予定している「立地適正化計画」において決定される拠点間の連携強化を支援する公共交通網の再編が必要となっています。

### 市街地の形態の変化に対応した移動手段の提供

中心市街地の商店街では空き店舗が増える一方で、マンション建設が進み新たに人が住み始め人口が増加しています。このような中心市街地の形態の変化に対応して、現在の市街地内の交通を補完する移動手段が求められています。

### 観光客の増加に対応した2次交通整備

平成27年3月14日の北陸新幹線の金沢延伸等により観光客の増加が期待されています。生活交通の確保と合わせて、市の主要産業と位置づけている観光での移動手段としての利便性向上が求められています。

## ■ 本計画の概要

### 1. 計画の位置づけ

本計画は、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「公共交通のマスタープラン」として位置づけます。まちづくりと連携し、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通システムの在り方などを定めます。

### 2. 対象区域

本計画の対象区域は、市全域とします。

### 3. 計画期間

本計画の計画期間は、平成28年度～平成32年度の5年間とします。

## 4. 地域公共交通網の形成に関する基本的な方針

本市の地域公共交通網形成に関する基本方針を次のとおり定めます。

### ～基本方針～

- 少子高齢社会や環境保全に対応した地域づくりを支える公共交通体系の構築
- 公共交通網の連携強化による利便性の確保
- 都市間連携を支援する公共交通網の形成
- 利用者主体の公共交通体系の構築

## 5. 計画の目標

基本方針を実現するために、以下のとおり目標を定めます。

- 路線バス及び地域を運行するバス利用者数の増加  
129万人/年（H26年）→160万人/年（H32年）

- 別所線輸送人員数の増加  
122万人/年（H26年）→123万人/年（H32年）

- 上田市と他都市を結ぶバス系統数の維持・充実  
5系統（H27年）→5系統以上（H32年）

- バス利用者満足度の向上  
86%（H27年）→90%（H32年）

## 6. まちづくりと連携した公共交通網

まちづくりの方針を総合的・体系的にとりまとめた「第二次上田市総合計画（平成28年3月策定）」やまちづくりの指針である「上田市都市計画マスタープラン（平成27年3月策定）」と連携し、まちづくりと一体となった公共交通網の確保・維持を図ります。

凡例	
● 都市機能集積拠点	≡≡≡≡ 鉄道軸
● 生活複合拠点	⇄⇄⇄⇄ 幹線バス軸
● まちづくり活動エリア	⇄⇄⇄⇄ 支線バス軸
● 観光エリア	
● 自然リゾートエリア	
● 産業・研究エリア	



※拠点・エリアの設定は「上田市都市計画マスタープラン」による

【公共交通の概念図】

## 7. 目標達成のための事業・施策

本計画では、4つの目標を達成するための事業・施策を以下のとおり設定します。



※詳細  
5ページ

### ①路線バスの維持・改善

#### 事業概要

基本的な公共交通ネットワークを形成している市内を運行する路線バスを維持し、利用者の声を踏まえたダイヤやルートの変更を行う。

#### 実施主体

上田市、交通事業者

### ②地域バスの維持・改善

#### 事業概要

各地域を運行する市街地循環バス、まちなか循環バス、丸子地域循環バス、武石地域デマンド交通を維持し、各地域住民の声を反映したダイヤやルート変更の検討を行う。

#### 実施主体

上田市、交通事業者



まちなか循環バス  
「ぐるっと上田丸」

### ③高齢者、障がい者への配慮

#### 事業概要

主に、高齢者や障がい者を対象として運行しているオレンジバス、ふれあいバスのダイヤやルート変更の検討を行う。また、順次バリアフリー車両の導入を進める。

#### 実施主体

上田市、交通事業者

### ④地域の移動手段の確保

#### 事業概要

地域が自ら運行経費を一定程度負担し、自ら運行主体となり、地域の足を確保するため、タクシー等を活用した「地域自主運行バス」に対し、行政が運行経費の一部を負担する制度を導入する。

#### 実施主体

上田市、市民

### ⑤鉄道の連携強化

事業概要	鉄道とバスの接続強化、別所線沿線のパーク&ライド駐車場の維持・整備、別所線のサービスレベル向上のための検討等を実施する。
実施主体	上田市、交通事業者

### ⑥都市間連携の強化

事業概要	上田市と松本市を結ぶバスの運行を行い、都市間連携を強化する。また、現在上田市と近隣他市町村を連絡しているバス路線の運行改善策の検討を行う。
実施主体	上田市、交通事業者

### ⑦利用者への支援

事業概要	平成25年10月より実施している「上田市運賃低減バス」を継続実施する。また、鉄道とバス、バスとバスといった乗り継ぎにおける割引制度の導入を検討し、一部割引制度を継続する。
実施主体	上田市、交通事業者



### ⑧観光客への配慮

事業概要	観光客に対してガイド等が可能なタクシーやバス乗務員の育成を推進する。また、観光客が利用しやすいように停留所の改良を行う。
実施主体	上田市、交通事業者

### ⑨利用促進ソフト施策の強化

事業概要	分かりやすい時刻表と路線図の提供やバス待ち環境の改善・向上等、利用促進に関わるソフト施策を検討・実施する。
実施主体	上田市、交通事業者

## 8. 計画の評価

目標の達成状況の評価を毎年実施し、施策効果を検証します。

データ		収集方法	実施主体	時期
市内を運行するバス	ODデータ	・バス利用実態調査 (乗り込み調査)	上田市	年1回
	利用状況			
	路線別利用者数	・各事業者規定による集計 ・乗務員による記録	上田バス 千曲バス 東信観光バス JRバス関東 上田市	毎月
	路線別収支			
運行区間	・時刻表、路線図等による確認	上田市	年1回	
別所線	乗車人員	・上田電鉄規定による集計	上田電鉄	年1回
市民意識・移動行動		・各種アンケート調査等	上田市	平成31年



目標達成のための事業・施策

基本方針	事業・施策		通し番号	
少子高齢化や環境保全に対応した地域づくりを支える皇居交通体系の構築	(1) 路線バスの維持・改善	①路線バスの運行見直し	1	
	(2) 地域バスの維持・改善	①市街地循環バスの運行見直し	2	
		②まちなか循環バス ”	3	
		③丸子地域循環バス ”	4	
		④武石地域デマンド交通 ”	5	
	(3) 高齢者、障がい者への配慮	①オレンジバスの運行見直し	6	
		②ふれあいバス ”	7	
		③バリアフリー車両の導入	8	
	(4) 地域の移動手段の確保	①地域自主運行バス等地域主導型公共交通の導入支援	9	
	公共交通網の連携強化による利便性の確保	(5) 鉄道の連携強化	①新幹線の始発・終着列車とバスの接続	10
			②しなの鉄道の長野方面への朝夕の列車とバスの接続	11
			③別所線と新幹線、しなの鉄道の接続	12
			④別所線下之郷駅におけるバスの接続	13
⑤別所線沿線のP&R駐車場の維持・整備			14	
⑥別所線のサービスレベル向上のための検討			15	
⑦別所線の維持・活性化に伴う事業			16	
都市間連携を支援する公共交通網の形成	(6) 都市間連携の強化	①上田-松本都市間バスの運行	17	
		②他都市と連絡している路線の運行見直し	18	
利用者主体の公共交通体系の構築	(7) 利用者への支援	①「上田市運賃低減バス」の継続	19	
		②乗継料金料金の導入・接続	20	
	(8) 観光客の配慮	①観光客に対応できる乗務員の育成	21	
		②観光客が利用しやすい停留所の改良	22	
	(9) 利用促進ソフト施策の強化	①分かりやすい時刻表と路線図の提供	23	
		②モビリティマネジメント（普及啓発事業）の実施	24	
		③バス待ち環境の改善・向上	25	
		④運転免許自主返納支援	26	

計画の目標に対する実績値

資料6-③

※定めた目標に対しての実績

① 路線バス及び地域を運行するバスの利用者数の増加

目標値	現況値（平成26年度）				目標値（平成32年度）
	129万人/年				160万人/年
実績値	実績値				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	131万人	130万人	129万人	124万人	80.9万人

② 別所線輸送人員の増加

目標値	現況値（平成26年度）				目標値（平成32年度）
	122万人/年				123万人/年
実績値	実績値				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	131万人	128万人	129万人	111万人	63.7万人

③ 上田市と他都市を結ぶバス系統数の維持・充実

目標値	現況値（平成27年度）				目標値（平成32年度）
	5系統 ※菅平高原線、鹿教湯線、青木線、佐久上田線、長久保線				5系統以上
実績値	実績値				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	5系統	5系統	5系統	5系統	(6系統) ※令和2年12月「上田草津線」新設

④ バス利用者満足度の向上

目標値	現況値（平成27年度）				目標値（平成32年度）
	86%				90%
実績値	実績値				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	83%	92% ※4路線調査分	—	—	—